

- 新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ -

愛媛県において 10 月 29 日時点で報告された新型コロナウイルス感染者は 5,374 人となりました。感染者数は減少しましたが、散発的な発生は続いています。引き続き、県民の皆様には感染回避行動の徹底をお願いします。少しでも体調不良がある場合は、あらかじめ、かかりつけ医等の身近な医療機関や「受診相談センター（089-909-3483）」に電話相談し、案内に従って受診してください。詳しくは県ホームページをご確認ください。



『愛媛県ホームページ 新型コロナウイルス感染症に関する情報』 ⇨

発生動向の概況

手足口病の定点当たり報告数は、第 41 週 3.0 人、第 42 週 2.9 人と横ばいに推移していますが、八幡浜保健所では急増しています。その他の地域でも、宇和島保健所で多発しているほか、松山市保健所、中予保健所でも多い状況であり、引き続き県内全域で注意が必要です。**ヘルパンギーナ**の定点当たり報告数は、第 41 週 0.9 人、第 42 週 0.8 人と横ばいに推移しています。地域別にみると宇和島保健所で多い状況です。これらの感染症は乳幼児を中心に流行し、患者の鼻やのどの分泌物のほか、便、水疱内容物などによって感染が広がります。感染予防のため、液体せっけんとう流水での手洗いを励行するとともに、タオルやコップの共用は避けましょう。

腸管出血性大腸菌感染症の届出が 1 例ありました。この感染症の原因菌は、ベロ毒素を産生する病原大腸菌で、この菌に汚染された食物などを経口摂取することによって感染します。少量の菌でも感染し、激しい腹痛、水溶性下痢及び血便をおこします。特に乳幼児や高齢者が感染した場合は重症化しやすく、溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症などの合併症を発症し、死亡することもあります。調理前、食事前など、こまめに液体せっけんとう流水での手洗いを励行しましょう。腹痛、下痢、血便などの症状がある場合は、早めに医療機関を受診してください。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症

- 二 類 感 染 症：結核 6 例
- 三 類 感 染 症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例（O157：10 歳未満男性）
- 五 類 感 染 症：アメーバ赤痢 2 例（60 歳代男性、80 歳代女性）
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 例（20 歳代女性）
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3 例（60 歳代男性、90 歳代男性、90 歳代女性）
- 梅毒 1 例（20 歳代男性 2021 年県内累計 60 例）

新型インフルエンザ等感染症：新型コロナウイルス感染症 72 例

*その他、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の届出が第 40 週に 1 例、後天性免疫不全症候群の届出が第 30 週に 1 例、新型コロナウイルス感染症の届出が第 40 週に 1 例ありました。

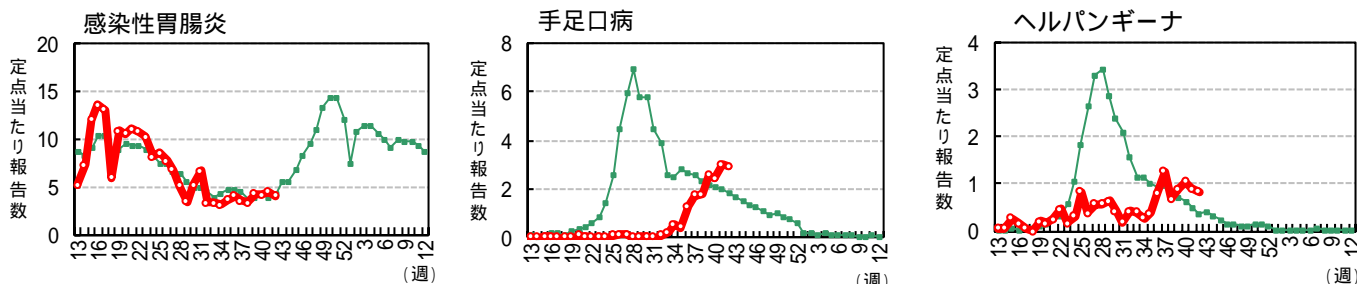
定点把握感染症（数字は最新週の定点当たり報告数）

疾 病 名	愛媛県推移	県 内 の 傾 向
感 染 性 胃 腸 炎	➡ 4.0	横ばい。
手 足 口 病	➡ 2.9	横ばい。八幡浜保健所で急増。宇和島保健所で多発。
ヘルパンギーナ	➡ 0.8	横ばい。宇和島保健所で多い。

解析評価委員のコメントから

- 感染性胃腸炎：[東予]軽症が多いですが、西条市では引き続きみられています。
[中予]増加しています。 [南予]前週に比べて増加傾向です。
- 手足口病：[東予]今治市でみられています。西条市ではまだ少ないです。
[中予]増加しています。 [南予]多数発生しており前週より増加傾向です。
- ヘルパンギーナ：[東予]今治市で少しみられます。 [中予]減少しています。
[南予]相変わらず多数発生しています。

過去 30 週の動向（●：過去 30 週の動向、●：過去 10 年の平均）



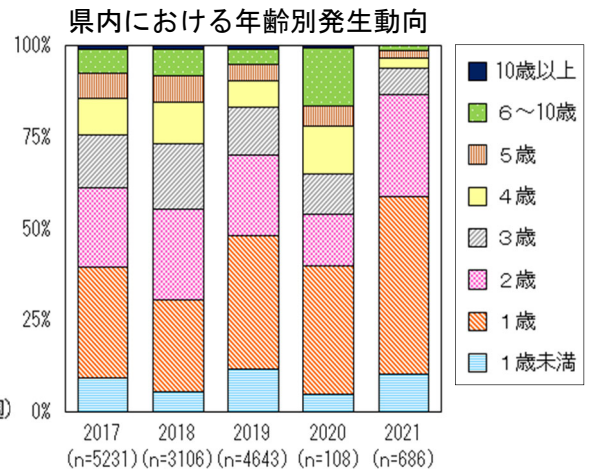
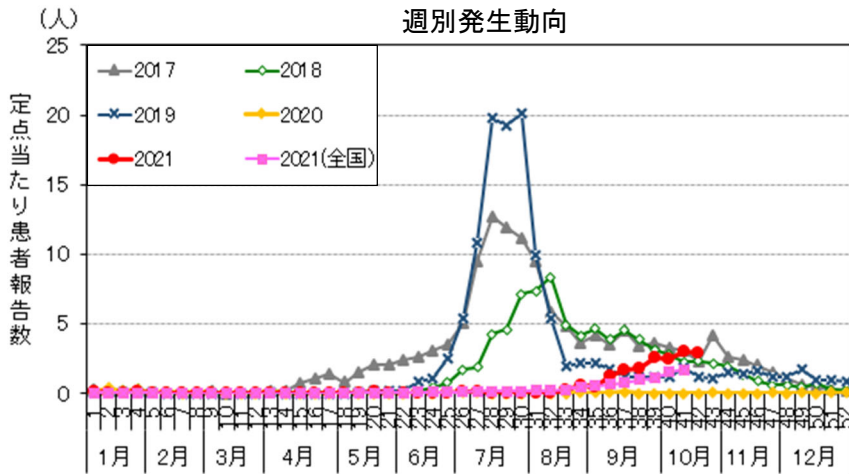
(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所単位での集計で、患者の住所によるものではありません。感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.lg.jp までお願い致します。

- 愛媛県における手足口病の発生状況 -

令和3年10月27日現在

手足口病の八幡浜保健所の定点当り報告数は第40週2.3人から第42週4.8人と急増しました。また、宇和島保健所では患者数が多い状況が続いており、第42週の定点当り報告数は5.3人でした。手足口病は例年夏季に流行がみられますが、昨年は患者報告がほとんどありませんでした。2021年は、全国的にも遅れて流行しています。年齢別にみると、1歳児が332例(48%)、2歳児が192例(28%)と多くを占め、4歳児以上は44例(6%)と例年に比べて減少しています。

この疾患は、主に咳やくしゃみなどのしぶきを介した飛沫感染や、飛沫や便に含まれるウイルスが手指を介して口から侵入する接触感染により感染します。手足や口腔内に水疱性の発疹を生じ、多くは軽症ですみますが、まれに髄膜炎、脳炎、急性弛緩性麻痺などの重い合併症を起こすことがあります。2日以上続く発熱や嘔吐、呼びかけに答えないといった症状がみられた場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。症状が治まっても、2~4週間は便中にウイルスが排泄されるため、食事前、トイレの後などは、こまめに液体せっけんとう流水で手を洗いましょう。



病原体検出情報

令和3年10月26日現在

- 第38週、第39週に今治及び松山市で採取された手足口病患者検体からコクサッキーウイルス A6 (CA6) が4例検出されました。コクサッキーウイルスについては、感染症情報第18号 (<https://www.pref.ehime.jp/h25115/kanjyo/kanjyo/kanjyo-back.html>) をご覧ください。

過去5週 検出病原体

(2021年9月20日以降採取検体)

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
38	9/20~9/26	今治	手足口病	コクサッキーA6	咽頭ぬぐい液	1
		松山市	手足口病	コクサッキーA6	咽頭ぬぐい液	1
39	9/27~10/3	今治	手足口病	コクサッキーA6	咽頭ぬぐい液	2

月別病原体検出結果

臨床診断別検出結果 (2021年8月以降採取検体)

検体採取月		2021						合計
検出病原体		5	6	7	8	9	10	
ウイルス	コクサッキーA4		2	1				3
	コクサッキーA6					8		8
	パラインフル3		5					5
ウイルス計			7	1		8		16
細菌	A群溶レン菌	1						1
細菌計		1						1

検出病原体	手	合
	足	計
コクサッキーA6	8	8
ウイルス計	8	8

注) 表中の検出数は10月26日集計分であり、その後の検出結果は次号以降に反映されます。咽頭ぬぐい液にはうがい液・鼻汁・鼻腔ぬぐい液等を含んでいます。

全国 定点把握感染症 2021年 第40、41週 (2021.10.4 ~ 10.17)

(定点当たり報告数)

	1) インフルエンザ	小児科定点										眼科定点		基幹定点				
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	4) クラミジア肺炎
愛媛県		.7	.1	.2	4.1	.1	2.4	.0	.5	1.1	.1		.1					
近畿 県	香川県	.1	.1	.5	3.5	.0	1.0	.0	.5	.3								
	徳島県	.1		.1	5.4	.1			.4	.2								
	高知県	.0	.0	.1	1.1	.1	1.5	.0	.4	.7								
40 週	全 国	.0	.5	.1	2.2	.1	1.5	.0	.3	.6	.0	.0	.2		.0	.0	.0	.0
	北海道		2.2	.1	.6	.6	.1	.1	.0	.1	.0		.1				.1	
	東北		.5	.1	.5	1.6	.1	.6	.0	.4	.2	.0	.2	.0	.0	.0	.0	
	関東		.2	.1	.3	2.0	.1	.1	.0	.4	.4	.1	.0	.4	.1	.0	.0	.0
	甲信越北陸		.7	.1	.7	2.3	.1	.2	.0	.3	.4	.1	.1					
	東海		.0	.0	.1	.3	1.5	.0	.0	.2	.6	.0	.1				.0	
	近畿		.0	.2	.1	.4	2.4	.1	1.8	.0	.3	.8	.0	.1	.1	.0		
	中国四国		.4	.1	.3	2.8	.1	1.9	.0	.4	1.1	.0	.2	.0	.0	.0		
	九州沖縄		.0	1.3	.2	.9	3.1	.1	7.5	.0	.5	1.2	.0	.3		.0		

(10.13集計)

愛媛県		.3	.1	.4	4.4	.2	3.0		.4	.9	.1		.5		.2			
近畿 県	香川県	.3	.1	.3	3.8	.1	1.4		.6	.6	.0							
	徳島県	.1	.1	.5	3.6				.4	.3					.1			
	高知県		.1	.5	.6	.0	.8	.1	.2	.3			.3					
41 週	全 国	.0	.4	.1	.5	2.3	.1	1.7	.0	.4	.7	.0	.0	.2	.0	.0	.0	.0
	北海道		2.4	.2	.6	.7	.1	.1	.0	.2	.0	.0	.0	.0			.1	
	東北		.4	.1	.5	1.7	.1	.6	.0	.5	.3	.0	.1				.0	
	関東	.0	.1	.1	.3	2.2	.1	.2	.0	.4	.4	.1	.3			.0		
	甲信越北陸		.6	.1	.6	2.0	.1	.2	.0	.4	.4	.0	.1			.0	.0	
	東海	.0	.0	.1	.4	1.5	.0	.1	.0	.2	.6	.0	.2			.1	.0	
	近畿	.0	.1	.1	.4	2.5	.1	2.2	.0	.3	1.0	.1	.0	.2	.0			.0
	中国四国		.3	.1	.5	2.7	.1	2.4	.0	.4	1.2	.0	.2		.0	.0		
	九州沖縄	.0	1.3	.1	.9	3.7	.1	7.8	.0	.6	1.4	.1	.3		.0			

(10.20集計)

1) 鳥インフルエンザを除く。

2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。

3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。 4) オウム病を除く。

